

# KOMAKI CITY

## えーがや！こまき

### 小牧市市制60周年記念特大号

八雲町が、北海道からはるか遠い愛知県小牧市と友好都市である事はご存知でしょうか。

今年、小牧市が市制60周年を迎えたことを記念し、今号では「えーがや！こまき特大号」として60周年記念式典の様子や小牧市の見どころをお伝えしたいと思います。

#### ■小牧市はこんなところ

小牧市は、愛知県北西部の濃尾平野のほぼ中心で、名古屋市の北側に位置しています。人口は約15万4千人で県営名古屋空港、名神高速道路、東名高速道路、中央自動車道の結節点という立地条件にも恵まれた、陸上交通要衝都市の性格を有する内陸工業都市です。

#### ■小牧市との交流

小牧市と八雲町との縁は古く明治時代にまで遡ります。明治11年、徳川慶勝公は北海道開拓使より遊楽部原野の払下げを受け、旧尾張藩領から八雲へ人々の移住を推進しました。

その後、愛知県全域から続々と入植が続き、大正7年には小牧市からも70戸の入植があつたと言われています。昭和57年小牧市にて、徳川家第19代当主義親公が小牧市へ寄贈した小牧山の公開55周年記念事業を開催の際、臨席していた第20代当主徳川義知氏が八雲町と旧尾張藩との縁を披露され「交流できないものか」と提言されたのをきっかけに、同年9月小牧市助役等が八雲町へ訪れ交流が始まりました。その後、昭和58年1月には八雲町児童15人が小牧市を訪れ、現在も続く児童交流となりました。また、平成元年に小牧市において設

立された「小牧市・八雲町交流市民の会」(小牧市内在住の方を中心に、個人会員約620名、法人会員5社(平成26年11月現在)は、毎年夏に、自然体験ツアーとして、いも掘り体験・熊石水産種苗センター見学など八雲町に訪れています。平成22年には、八雲町において「小牧市と交流する八雲町民の会」が発足し、まちぐるみの交流が続けられています。



小牧山



小牧市全景



名古屋コーチン



### 小牧市の見所を 一部ご紹介いたします！

#### 小牧市のシンボル

信長・秀吉・家康三英傑ゆかり「小牧山」

小牧山(国指定史跡)は、市街地の西に位置する小山です。1563年に織田信長が小牧山に築城し、清須から居城を移しました。信長が初めて手がけた城「小牧山城」は、小牧山全体に堀などが展開し、主郭周囲には近世城郭の石垣のルーツとなる石垣がめぐらされました。4年後、信長は岐阜に移り廃城となりますが、後に徳川家康と羽柴(豊臣)秀吉の「小牧・長久手の合戦」において家康の陣となりました。

現在では小牧山は、雄大な景観と自然に囲まれる市民の憩いの場となっています。

#### 小牧市発祥！「名古屋コーチン」

明治4年に維新により職を失った旧尾張藩士海部壮平は、小牧市でよろずやを始めました。しかし、商売経験がなく借金がかさむばかりで窮地に追い込まれました。そんな中、弟の正秀が「鶏を飼わっせ。一日の餌代は二厘か三厘で一個一銭になる卵を産みますぞ」と成鶏を飼い始めました。試行錯誤の中、十年以上の年月を新品種の出に没頭。明治38年、地鶏とバフコーチン(中国産の鶏)の交配が新品種の開発につながり、日本家禽協会により初の「国産実用鶏」として名古屋コーチンが誕生しました。市内には、尾張地方に伝わる鶏のすきやき「ひきずり鍋」を名古屋コーチンで食事出来るお店もあるので、小牧市へ訪れた際には、立ち寄ってみてはいかがでしょうか？

◆小牧市の観光案内はこちらへ！

小牧市観光協会 小牧駅前観光案内所  
☎0568-39-6123 (午前9時～午後5時15分)